

f・wave

2011.12.15
28号

f は、family- 家族、freedom- 自由、future- 未来、そして f (フォルテ)- 強く、を意味し、wave は波を表します。

f・wave は、社会環境の変化の波を誌面を通じて伝え、男女が生き生きと暮らせる未来を目指すコミュニケーション誌です。

インタビュー

■市のアーティストインレジデンス事業(＊)で、共同生活をしているアーティスト(写真左から、山成さん、根岸さん、パニさん・インド人)を訪ねました。(取材・10月)

Q パニさん(以下敬称略)は、インドにご家族を残しての来日ですね？

A パニさん(8歳)の子供に会えなくて寂しいです。このレジデンスのことは、ここで滞在したところあるブルガリア人の友人に聞きました。日本の現代美術(木版画など)を見たくて、来たいと思っていましたし、妻もアーティストなので、勧められました。え？ 逆の立場になったら、ですか？

A 行き先がきちんとしていれば良いと思います。妻とは大学で知り合いました。彼女は今、学校で先生をしていて、制作活動は休んでいます。家事もありますし、熱望してはいない様子。私の作品作りにはアドバイスをくれます。

Q 共働きですが、家事は全て妻がやってくれていませんか？

A インドではそれが一般的で、育児を手伝うのも、妻に用事がある時など特別なときだけです。昔は、親族で近くに集まって住んでいましたが、今はそれぞれ離れて生活しています。

Q 独身のお二人は、結婚についてどんな考えをお持ちですか？

山成 結婚しても子供ができて、共同生活をしているアーティスト(写真左から、山成さん、根岸さん、パニさん・インド人)を訪ねました。(取材・10月)

山成 結婚しても子供ができて、共同生活をしているアーティスト(写真左から、山成さん、根岸さん、パニさん・インド人)を訪ねました。(取材・10月)



きても、制作活動は続けたい。でも、もし家族がいても、今回のレジデンスには参加したと思います。版画だけでは生活できないので、子供対象の教室をしています。が、「今の活動をやめて」という人とは結婚しないと

Q 「男女参画」に対して、思うことは？

根岸 男女の性差をあまり感じることなく育ちました。両親を見て、喧嘩しつつも「持ちつ持たれつ」でやっているな」と思っていました。

山成 「女らしさ」が好きな女性もいるので、その人がそれで気持ちがいいのであれば、それで良いのではないのでしょうか。

Q ここでの生活にも「家事」があると思うのですが、どの様に分担していますか？

A パニ 時々皆で料理を作ります。制作だけだと面白くないし、気分転換になります。……とは言っても、できれば作りたくない(笑)。

山成 掃除は、近所の方が

してくれます。女性だから代表して料理を作る、というのではないです。男性二人も作れるようですし。

スルバー麻雀クラブ

訪問

シルバー麻雀クラブ

定年後、町内会の活動や娯楽クラブなどに入っている方は多いと思います。それは単に頭の体操だけのボケ防止といったことではなく、周囲との融和や、コミュニケーションをとるとい

点からも、とても大切なことです。

私たちは、シルバー麻雀クラブに所属しておりますが、市内のあちこちから多くの方がいらっしやいます。毎週休まずです。とにかく楽しいんです。友人に誘われてとか、頭の体操をしたとか、理由は様々ですが、特に女性の方が三



分の一ほどいまして、とても和やかです。男は家事をしないと云われますが、中には、若い頃は女房に散々面倒をかけたので、今は一生懸命女房孝行をしているという方もいます。女性は、このクラブにくる日は化粧もし、今日は何を着て行くのかなんて多少おしゃれ心が働くようです。幾つになっても女性は女性なんです。

こうして熟年の男女が一堂に集まり、ゲームをしながら、世間話や家族の話、愚痴を言つて、でもそれは違ふよ、こうだよなんて注意をしたり、注意された本人はそうなんだ、そういうこともあるんだと妙に納得したりして、今日はいい勉強になったと喜ぶ。いろいろと勉強になるので、また来週も来ようという気になるようです。

年金問題や少子化の話も度々出ます。年寄りばかり残って子どもが少くないんじや、日本の将来が不安だ

と云う声も聞かれます。でも、若い頃は女房に散々面倒をかけたので、今は一生懸命女房孝行をしているという方もいます。女性は、このクラブにくる日は化粧もし、今日は何を着て行くのかなんて多少多少おしゃれ心が働くようです。幾つになっても女性は女性なんです。

もっと麻雀に強くなる？ 物忘れ防止 簡単レシピ

お父さんにもできる

脳の老化防止には、運動、おしゃべり、規則正しい生活、腹八分目、低脂肪食、栄養的には、大豆製品、β-カロテン、葉酸(緑の葉やさい、枝豆、プロコラー、レバーなど)、昆布、ビタミンEなどが良いようです。

「にんじんの炊き込みご飯」(4人前)

- (作り方)
- ① 米2カップは洗って、ざるにあげ、水気を切っておく。
 - ② 人参1/2本と油揚げ1/2枚は1cm幅の短冊切りに、5cm角の昆布は料理用はさみで細く切る。
 - ③ 鍋に、サラ油小さじ2と人参を入れてサクッと炒め、火を止めてから油揚げと昆布、しょうゆ・酒各大さじ2、塩小さじ1/2を入れ、混ぜておく。
 - ④ 炊飯器に米と③を入れ、水加減をして炊飯する。*煮干や大根、大豆の水煮を入れて炊いても美味しい。



とか。もちろん子どもが少なければ、段々年金の金額が目減りする、それが一番心配なのかもしれません。若い人たちの働く環境をもっと整えてもらいたい、子育て家庭への支援策を考えていただきたいなど、これがなんと年寄りの希望だそうです。いいじゃないですか、年寄りが若いこれからの人のことを心配してくれている、こんないいことはないですね。(クラブ会員談)

ここでは、理屈抜きで男女共同参画が実践されています。男女という枠にとらわれず、「同じ麻雀を楽しむ仲間」として対等で、気負うことなく互いに協力する。皆、心底楽しみ、生き生きしていました。

地域で防ごう！ 児童虐待

男女共同参画社会 基本法の基本理念

- 1 男女の人権の尊重
- 2 社会における制度等についての配慮
- 3 政策等の立案及び決定への共同参画
- 4 家庭生活における活動と他の活動の両立
- 5 国際的協調

児童相談所における虐待相談の対応件数は、近年増加の一途をたどり、平成21年度は4万4千件余(20年前の40倍)、死亡事例は年間50件超となっています(厚生労働省資料)。

虐待をする親たちの中には、自分自身も愛されずに育った、怒り方やたつき方は知っていても、ほめ方や抱き方や愛し方がわからない、という人が多くいます。また、虐待は長期化する傾向があり、子どもの心身の健やかな成長や人格の形成に悪影響(すぐカッとなって他人を攻撃する、自信の欠如から自分が周囲に受け入れられないのではないかと不安を抱いているなど)

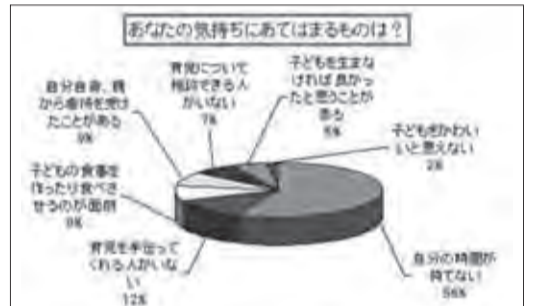
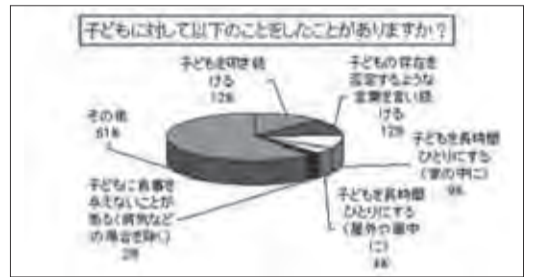
を及ぼし、将来の非行や犯罪へつながり易いといわれています。

虐待はなぜ起こる？

虐待の加害者は『実母』60%前後、実父・20%前後の比率で、近年は大きな変化がないまま推移しています。子どもにとって一番身近な母親の虐待割合が高く、ネグレクト(育児放棄)も増えています。

泣きやまない子どもたちを抱えて、眠れない毎日。夫は帰ってきて、妻にも子どもにも無関心。周囲に語りう人もなく、気晴らしをする時間もお金もない……

「密室育児」。そんな状態では、理性的な判断がつかなくなってしまうのも無理はありません。昔は核家族ではなく、子育ての先輩から子どもとの接し方や育児の知恵を教わったり、手を貸してもらったりする環境がありました。地域のつながりも希薄ではなく、相談できる人も身近にいました。急速な生活環境の変化に、最近の経済不安があいついで、子育てママ達は厳しい環境にさらされています。「親のくせに……」と責めないでください。虐待をす



子育て応援ネット「こそだて」2007年虐待に関するアンケートより

る母親も、苦しんでいるのです。「そこまで追い詰められていたんだね。」そんな周囲の優しい声かけが、母親の気持ちを氷解させるのではないのでしょうか。親も、「ひとりで悩んではいけない。」「子ども優先に考える。ストレスや気分、暴力を振るってはいけません。」と親の自覚を持つことが必要です。

ワークライフバランスの調査結果を見ても、妻は夫の協力が満足していません。「家事も育児も妻がするのが当たり前」ではなく、「今、パートナーは悩んでいるのか。自分には何ができるだろうか。」と温かく見守り、助けてほしいと思います。周りから気にかけてもらうことで心に余裕が生まれるのです。育児を支える企業も存在も欠かされません。

私たちには、実際に現場を見ていなくても、虐待を受けた「想像できる」児童を発見したら、相談所などに通報する義務があります。(児童虐待防止法…平



その時がきたら、 どうしますか？

「おとうさん、お疲れ様でした。長い間ありがとう！」と家族から言われる日が、いつかは来ます。生涯現役と言いたいところですが、サラリーマンである以上、「定年」の日が遅かれ早かれ訪れるのは確かです。また、自営業の方は定年こそありませんが、仕事の第一線から身を退く日も必ず来ると思っています。さて、その日から毎日、夫が家にいる生活が始まるわけですが……。

仕事に出かけない夫が毎日家にいる。妻が出かけようとする「どこへ行く？」

「何時に帰る？」

「オレのめしはどうするんだ？」と束縛3点セットが口から飛び出します。そうすると、妻は今までやってきた趣味や友達との付き合いを我慢するようになり、家に友人を呼ぶなんてとてもできなくなります。夫がいるだけでイライラし、ストレスをかかえるので、自立神経失調症・不眠症・うつ病、そして胃潰瘍や顔面マヒなどになる人が結構います。

また、こうした妻の悩みを友人に打ち明けると、「ご主人は長い間、家族のために働いてきたのよ。あなたはなんてわがままなの！」と非難されるのです。そう言う奥様は「うちの夫は70歳だけまだ働いているのよ」と自慢をするので、余

計に傷ついてしまいます。女は女にいわるでですね。一方、夫は長い間働いてきたので「しばらくは充電期間だ。のんびりするぞー」と、一日中パジャマでごろごろするだけ……。着替えるのも面倒なので、当然外出もしなくなる。昼寝とテレビ漬けの毎日を送るようになります。定年おじさんの「ひきこもり」です。

そして、「ひきこもり」を長く続けていると、何をやるのも面倒で、無気力になりがちです。テレビばかり見ている、人との関わりを持たずに生活している、脳への刺激がなくなり、うつ病になったりもしまます。定年後の楽しい生活を夢見ていたのに、妻も夫も病気になる。しかも、妻の病気の原因が夫にあるなんて……哀しいですね。

第16回 男と女のライフフォーラム
「妻と夫の定年塾」
～60からがおもしろい～
2012年2月19日(日)
13:30から
あきる野ルピアホールにて
講師：西田小夜子氏(作家)



本の紹介
『めざめる女 つぶやく男』
—富田林発—
ジェンダー・学び・プロジェクト/編
ジェンダー・学び・プロジェクト/編
全国から募った老若男女の作品集である、ということ。六百字に込められた、それぞれの思いやドラマ。作者の一人ひとりが遭遇した、日常のなげない「ジェンダー」な出来事に触れることで、「ジェンダー」(社会的・文化的に形成された性差)をより身近な問題として感じることができま

みなさんは「ジェンダー」という言葉を聞いて、何を思いますか？「また、あの騒がしい女性運動に関わる単語か……」とアレレギー反応を起こしますか。それとも、男女平等への手がかりだと感じますか。

なんとなく苦手と感じている方にもお勧めしたいのが今回の一冊です。この本の大きな特徴は、

さて……いざれば定年を迎える、または迎えたご夫婦の皆さま。こんな現状をどう思われますか？「ここで人生80年、夫婦ともに楽しく充実した20年を過ごすためのヒントを示してくれる方を紹介したいと思えます。作家の西田小夜子さんです。「妻と夫の定年塾」という東京新聞のコラムと同名の本が人気で、実際に「定年塾」も開いていらっ

2月に、その西田さんがあきる野に来てお話をしてくださいることになりました。是非、ご夫婦そろって参加し、「この人と共に人生を歩めてよかったな」と思える定年後の人生を手に入れてほしいと思います。

男女共同参画を考えると、無意識のなかに潜む「ジェンダー」という透明な壁にぶつかってしまい、先に進めなくなることがあります。そんなとき、この本がヒントをくれるかもしれません。多様な人々の声を聞き、自分との違いを考えてみる。その道りできつと何か発見があるはず

f.wave エフ・ウェイブ 第28号 2011年12月15日発行
発行/あきる野市教育委員会教育部 生涯学習推進課
〒197-0814 あきる野市二宮350番地
TEL 042-558-1111 FAX 042-558-1560
企画・編集/あきる野市男女共同参画情報誌編集委員会
編集委員/海老沢治美、グラントウ・カトゥリーナ、渋谷美喜子、羽生田純治、山崎敦子
イラスト/おちあいけいこ